

## 上小阿仁小中・児童生徒 66 人 せんべい汁、おいしいね 原料は県産米、給食で味わう



県産米を使ったせんべい汁の給食が上小阿仁小中学校で提供され、児童生徒 66 人が舌鼓を打った。

県産食材に親しんでもらいたいと昨年に続いて実施。五城目町の手焼きせんべい店「イトマン元気村」(伊藤萬治郎代表)が、地元産のあきたこまちを原料に

作ったせんべいを無償提供した。

レシピは同校の栄養教諭が青森県の郷土料理・せんべい汁を基に考案。具材に鶏肉や糸こんにゃく、ゴボウなども加え、スープはきりたんぽ鍋風味に仕立てた。

児童生徒は「いただきます」と声をそろえ、せんべい汁を味わった。あっという間に平らげておかわりをする児童もあり、6年の高橋健君(11)は「スープの味と合わさってとってもおいしかった。家でも食べてみたい」と笑顔を見せた。

せんべい汁の給食は 12 日に振る舞われた。



(石塚佳治)

(令和 5 年 5 月 19 日 (金) 秋田魁新聞より抜粋)